



西日本区ホームページ・http://www.ys-west.or.jp/  
西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2014年11月号

### 「主題」

- 国際会長 : 言葉より行動を  
アジア地域会長 : 未来を始めよう、今すぐに  
西日本区理事 : 「響きあい、ともに歩む To walk together, echoing each other」  
-こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく-  
中部部長 : 「将来を見つめたワイズ活動!」を今やってみよう!  
プラザクラブ会長 : 「継続するクラブ活動を進めよう!」  
強調月間・活動 : 【Public Relations Wellness=ワイズデーの広報をして、ワイズメンズクラブの認知度を高めましょう。】

### 11月例会および今後の予定案内

#### 【11月第1例会】

日時: 11月13日(木)・18:45-  
場所: 名古屋YMCA会議室  
内容: 想念寺住職の「卓話」・中部部長が公式訪問されます。

#### 【11月第2例会】

日時: 11月27日(木)・18:45-  
場所: 名古屋YMCA会議室  
内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員(後藤・榎田・鈴木)  
12月担当者(小澤・榎田)  
1月担当者(大島・西野)

#### 【今後の予定】

- チャリティーラン  
日時: 11月1日(土)・集合時間 9:00  
場所: 名城公園(フラワープラザ裏)
- 第2回中部評議会及び中部EMC推進委員会開催  
日時: 11月29日(土)  
中部評議会 ・11:00-12:30  
EMC推進委員会・13:00-14:00  
場所: 名古屋通信ビル
- 第1回名古屋YMCA大会  
月日・場所は上記2項と同じ  
第1部 開会礼拝その他 ・14:00-  
第2部 Y・Yフォーラム・14:45-  
第3部 会員活動発表 ・15:40-  
懇親会: 場所・浩養園 ・18:45-  
費用・5,500円/人

### 10月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	大島 孝三郎	○	○	○						
	小澤 幸男	○	○							
書記	榎田 守隆	○	○	○						
会長	後藤 猛	○	○							
	島崎 正剛	○		○						
会計	鈴木 誉三	○	○	○						
	高田 廣	○	○							
連絡主事	西野 真希	○	○							
ゲスト										
諸活動	①ジャガイモ・カボチャ荷卸し作業 10/18									
出席率(%)										100.0
クラブファンド(円) ・当月/累計		7,000								14,000
12月号寄稿者・西野(1600-2000字程度) 1月号・小澤/2月号・鈴木/3月号・島崎										

【2014-15年度クラブ役員】メネット連絡員・後藤猛/副会長・YMCA サービス・小澤幸男/ブリテン委員長・榎田守隆/EMC. BF. EF. JWF. メール委員・大島孝三郎/広報事業・鈴木誉三 /IBC. YEEP・島崎正剛/CS. TOP・高田廣/連絡主事・西野真希

## 10 月第 1 例会報告

日時:10 月 9 日(木)・18:45-20:45

場所:名古屋 YMCA 会議室



### 1. 連絡事項・後藤

- (1) 神沢ファミリーYMCA 開設記念備品寄付  
メンバー7 人分 21,000 円の寄付金は、野外活動の器材や備品を収納する物置の購入および工事費用に利用させていただきました、との礼状が中村総主事・坂本館長連名で届いた。
- (2) 10 月第 2 例会の部長訪問中止  
11 月の例会に変更する。
- (3) チャリティーラン
  - a. 1 チーム分 50,000 円を寄付する。
  - b. 例年通り、距離表示板を設置する作業を任されたので午前 9 時までに集合のこと。
- (4) 滋賀 YMCA 協力のヴォーリス展  
日時:10 月 4 日(土)-11 月 2 日(日)  
場所:近江八幡市内  
費用:1,500 円/人
- (5) YMVC 国際協力基金  
ご協力お願いします。
- (6) ジャガイモ到着日  
10 月 18 日(土)午後 2 時頃南山幼稚園に到着予定、荷卸し作業のお手伝いの方は 30 分ほど前から待機願います。

### 2. 連絡事項・小澤

- (1) 11 月第 1 例会の卓話は、想念寺の住職に快諾をいただきました。
- (2) 12 月のクリスマス例会(第 1 例会)  
詳細は 1 面参照のこと。ただし第 1 例会定例の第 2 木曜日開催ではありませんのでご注意ください。

### 3. YMCA 連絡事項・中野

- (1) チャリランのラッフル券販売  
500 円/枚
- (2) 名古屋 YMCA 大会参加者確認  
詳細 1 面参照のこと。

### 4. 今後のクラブ運営について

- (1) メンバー個々の意見
  - ・次々期部長はプラザが担当、恐らく 10-11 月頃には発表せざるを得ない。どなたか部長になる人いますか。現状では無理、ほかに仕事上のことなどいろいろ

ありますが、これが最も身近な理由です。

- ・何とか継続したいと増員を心掛けたが、パワー不足でできなかった。解散となれば止もう得ない。他クラブ転籍は選択肢としてある。
  - ・部長選出問題がネックなら、「プラザからの部長選出は無理です」は許されないか。もし許されても解散しますか。解散ならば、「今後どうするか」ではなく、解散を前提に事後処理を話し合ったらどうですか。
  - ・形式的で大仰な組織でも組織は組織、その組織に属している以上その制度に従わざるを得ない。選択肢として他クラブとの合併、解散すれば個人の転籍も考慮したい。
  - ・年齢、体力が心配なメンバー、現在仕事の舵をどう切るかの隘路にいるメンバーの混在するクラブが、継続できるのは精々あと 1,2 年、この際きっぱり解散したらどうか。
  - ・部長職は大変、少人数のクラブでは全員がスタッフのため、みなさんに負担を掛ける。だからプラザからの部長選出は勘弁して、は金沢、犀川を鑑みて許可されないだろう。
  - ・理由は体力的な問題で解散したい。もし継続ならクラブを止める。
- (2) まとめ
- a. クラブの解散に 賛成 3 人・反対 2 人・保留 2 人、ここまで本音が出て「止める」と明言する者もいるため、「プラザからの部長不選出」が認められてもクラブの継続は不可能である。
  - b. 10 月第 2 例会で「解散」を前提に以下のことを話し合う。
    - ・各自、身の処し方を明確にする。  
(クラブ退会、ワイズに残る場合転籍先を決める)
    - ・メンバー個人が預かる YMCA およびプラザの財産を提示し、その処置方法を決める。  
(会費残金、切手、月報、賞状、バナーなど)
    - ・クラブ主催のイベント  
(老人ホーム慰問、子どもとの釣り会、陶芸)
    - ・解散する時期
    - ・解散の通達  
(通達先・方法・時期)
    - ・その他各自意見を出し合い、確実にクラブの清算を行う。
  - c. 取りあえず、11 月 6 日(木)南山 YMCA で開かれるワイズ連絡会に後藤・島崎が出席して「プラザ解散」を伝える。
  - d. 4 項「今後のクラブ運営について」は、各メンバーが表明した意見、考え方をそのまま要約して 11 月号のブリテンに載せることを全員が合意した。

## 10 月第 2 例会報告

日時:10 月 23 日(木)・18:45-20:00

場所:名古屋 YMCA 会議室

### 1. 連絡事項・後藤

(1) チャリティーラン準備作業

日時:10月31日(金)・18:00-  
場所:名古屋 YMCA 3F 会議室  
出席:大島・小澤・榎田・鈴木

(2) チャリティーラン開催

1面参照のこと

(3) フェローシップ南山

南山クラブが施設の子ども 50 人ほどを招待してイモ掘りあと、トン汁の昼食を一緒にする行事です。興味のある方は南山に荒川さんまでご一報ください。

(4) EMC 委員会・中部評議会

日時:11月29日(土)の午前中、場所名古屋通信ビルを予定するも詳細な時間は未定。

(5) 第1回名古屋 YMCA 大会

日時:11月29日(土)・受付開始 13:30

場所:名古屋通信ビル

詳細は1面参照のこと

出席者・大島・小澤・榎田・後藤・鈴木・高田

(6) 第26回アジア地域大会

日時:7月31日(金)-8月2日(日)

場所:ウェスティン都ホテル京都

費用:早期登録 35,500 円/人・通常登録 39,000 円/人

2. 連絡事項・榎田

川口交流主査から「プラザ主催の陶芸教室を多くのクラブに広げられませんか」とのメールがありましたので、次回予定 3,4 月、場所土岐市下石(佐渡山工房)、定員 2 日間で 15 人程度、費用 5,000 円/人(1クール・作陶、施釉、引取り)との条件で交流主査が段取りしていただければ OK です、との返事をしました。

3. プラザクラブ解散について

(1) 再度、メンバー個々の意見

- ・ある年齢になったら止める心づもりだった。1,2 年早い解散が大勢であれば従う。
- ・解散であれば他クラブへ転籍するつもり。
- ・1 か月前腰を痛めてコルセット生活、止めたい。
- ・続けても年齢的にいつかは提起される問題、解散が潮時かも。
- ・立つ鳥跡を濁さず、という。大勢がそうであれば見苦しくないようにきれいに後始末をして解散する。
- ・さてどうするか、これから考える。

(2) 解散を前提にやるべきこと

a. クラブ、YMCA の財産処分方法

余剰金、切手、ラベルシール、バナー、鐘、月報、釣り道具など

◇分割、寄付、廃棄、(プラザ)OB 管理、処分など

b. クラブ事業

老人ホームへの音楽慰問 2 回/年

パレットキッズとのマス釣り会 1 回/年

陶芸教室 不定期

◇廃止、他クラブ移管、OB 有志による継続など、a. b ともに今後の検討課題とする。

(3) 解散届書式案(2 通作成)

届出先

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 松本 武彦 殿

(ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

中部部長 大西 博昭 殿)

届出人

名古屋プラザワイズメンズクラブ

会長 後藤 猛

解散の理由

残余財産の処分方法

解散年月日

2015 年 6 月 30 日

全会員の解散同意署名・印

ジャガイモ・カボチャが着きました

10 月 18 日午後 2 時頃十勝からのカボチャやジャガイモが、日通のコンテナ便で南山幼稚園に届く。待機していた YMCA スタッフ、各クラブのメンバー 20 人余りが、手渡しリレーでクラブ毎に積み上げていく。



若い人に挟まれるとリズムが狂い、危うく落としそうになる。「ゆっくり」と注文を付けても前からハイ、ハイと続いてハイでは私の前の人は辛かろう、若者に代わってもらおう。1 時間ほどで 5 クラブに仕分けされ、大小の山ができる。



3 時を過ぎると三々五々人がやって来て、5 時にはすべてが引き取られた。

77 歳の同窓会

「32 会(昭和 32 年卒)卒喜寿記念同窓会のご案内」が来た。文面には「今後加齢のため同窓会も思うようには



開催することが出来ません。(傘寿記念が最後の同窓会と思いたいと思っています)とある。喜寿は私の年齢から推して満76歳、数え年77歳は分かるが、傘寿(さんじゅ)は幾つだろうと浅学の自分を恥じながら調べてみた。長寿を祝う節目の年齢は、還暦(61歳)、緑寿(66歳)、古希(70歳)、喜寿(77歳)と続き、傘寿は数え年80歳をいう。喜寿の由来は『喜の草書体は「七十七」に見える所から77歳(の長寿のお祝い)』、因みに傘寿は『傘の略字「傘」が八十と読めることから八十歳(の長寿のお祝い)(新明解国語辞典より)』とある。

当日は志水君と一緒に受付を任せられたので開場1時間前に着く。受付カウンターには、参加者リスト、名札、式次第・名簿などを綴ったパンフレットが用意されていた。まだ誰も来ない。パンフレットの「欠席者名簿及びコメント」には、「極めて健康で、あと10年は生きられるとのことです」と書く者、「脳梗塞や心臓バイパスと次々に病魔に見舞われ」と嘆く者がいる。家族から、昨年の7月29日に呼吸不全のため永眠いたしました、平成25年2月14日父弘之は永眠いたしました、の悲しい知らせが2通あり、物故者名簿には彼ら2人を含み48人が記載されている。卒業生は273人だから分かっている48で割ると同窓生の死亡率は・・・などと考えていると、見覚えのある連中が集まり始めた。

「えーと、誰だっけ」、「・・・」慥然と自分の名札を指さす者がいる。「すまん」、顔は覚えているが、名前が思い出せない。横の志水君はエレベーターが開き、懐かしい顔が見えると同時に彼の名札を持っている。さすが3年生の時の級長さんである。午後6時開始、参加者全員が集合、まず記念写真を撮り、物故者に黙祷を捧げ、来賓の長い挨拶を聞き、みんなと酒を酌み交わし、校歌を歌って終了した。

世話人から同窓会会報に載せる原稿を頼まれた。  
32年卒喜寿記念同窓会

櫛田 守隆

9月25日、昭和32年卒・今年喜寿の同窓生26名と恩師鈴木拓先生、塚本敏先生、丹羽理事長ら来賓5名をお迎えして、アパホテル名古屋錦「ビルゴ」で喜寿記念同窓会が開かれた。

会は伊藤晏義君の司会で始まった。まず、全員起立して恩師および同級生の物故者に対して黙祷する。開会の挨拶は渡邊泰彬君、来賓の挨拶に安井俊夫同窓会副会長、恩師鈴木拓先生の挨拶と続き、最後に斉藤豪己君の乾杯で懇親会が開かれた。

年寄が久しぶりに会う話題は、専ら病気と孫の話。渡邊、安井両氏の挨拶に次は傘寿(さんじゅ・数え年81歳)、米寿と頑張っただけで百寿で総理大臣から賞状と銀杯を貰いましょう、とのお話があったが「我々の平均余命はあと10年、せいぜい86歳までですよ」と冷静な奴がいる。受付で渡された「32会同窓会欠席者名簿およびコメント」には、大腸がんや脳梗塞、突発性メマイ症などの病名が散見されるが、70歳から百姓をしたり外国旅行に出掛けたりして者もいるようで人様々である。

会の半ば頃大島同窓会事務局長は、学校の近況報告と

我々の卒業アルバムから部活の様子や集合写真をスライドで映してくれたが、自分の姿を探しにスクリーンへ近づく者もいる。席に戻って「痩せてたなあ」今に比べりゃそうだろう。映し終り、もし次の機会があれば一人ひとりを大写しにします、とのことでした。

折角の機会に何人の方とはお話をする機会がないままお別れの時間になった。斉藤君の発声で校歌を斉唱、佐渡山安彦君の閉会の挨拶で終わる。世話人の渡邊君から「次回同窓会は来年でよろしいでしょうか」の提案に多数の賛同を得た。それまでお元気でしたら、ぜひ参加してみてください。

## 聖書の言葉

【世は去り、世は来たる。しかし地は永遠に変わらない。日は出で、日は没し、その出た所に急ぎ行く。風は南に吹き、また転じて、北に向かい、巡りに巡って、またその巡る所に帰る。川はみな、海に流れ入る。しかし海は満ちることがない。川はその出た所にまた帰って行く。すべての事は人をうみ疲れさせる。人はこれを言い尽くすことが出来ない。目は見ることに飽きることがなく、耳は聞くことに満足することがない。先にあったことは、また後にもある。先になされた事は、また後にもなされる。日の下には新しいものはない。「見よ、これは新しいものだ」と言われるものがあるか、それは我々の前にあった世々に、すでにあつたものである。前の者のことは覚えられないことがない。後に起こる者はこれを覚えることはない。(旧約聖書 伝道(コヘレツ)の書1.4-11)】

【古い人が去り、新しい人が生まれる。それは大きな変化のようだが、この地に起きることは永遠に変わらない。太陽は昇って沈み、もとのところへ帰る。風はいろいろ吹くことを延々と続けているばかりだ。川の水はつねに海へと流れ入るが、海は決して満ち溢れることはない。かつて起こったことは、また起こる。かつて行われたこともまた誰かによって行われる。太陽の下に、今までなかった新しいことなど起きないのだ。(幻冬舎発行 白取春彦著「聖書の言葉」)より】

【昔、火山には、現在噴火している活火山(桜島・浅間山)、噴火記録はあるが現在は噴火していない休火山(富士山・雲仙普賢岳)、有史以降噴火記録のない死火山(御嶽山・箱根山)の3つに分類されていた。1979年、死火山だった御嶽山が噴火したことがきっかけで気象庁地震火山部は『有史だけで今後の噴火発生を判断するのは難しく、休火山、死火山というのは適当ではない』と3分類をやめた。1991年、活火山の定義を「過去およそ2,000年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動にある火山」と定めたが、数千年の間活動停止していた後に噴火した事例もあり、2003年「2000年以内」を国際的な基準の「1万年以内」と定義しなおした。東日本大震災後、日本の火山は活動期に入ったといわれている。今回の御嶽山噴火を予測した地震学者は、2019年までに富士山が危ないと予告しているが・・・、かつて地球上で起きたことはまたいつか起こる。】